

## 第5学年 算数科学習指導案

場所 5年教室 指導者

- 1 単元 小数の掛け算 (本時1/11)
- 2 本時の目標 整数×小数の計算方法を、整数と小数の関係性を意識しながら考えることができる。 (知識及び技能)
- 3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (10)	1 問題を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リボンを2m、3m買った時の代金はどのように求めるか、数直線を見ながら考えるように伝える。</li> <li>・2mと2.3mの違いは何か考えるように伝え、乗数が小数であることに気付けるようにする。</li> </ul>
課題 (2)	2 本時の課題を確認する。	<主発問>
展開 (25)	3 $80 \times 2.3$ を立式する。	リボン2.3m分の代金を求めるには、どのような計算をするか考えよう。
	リボン2.3m分の代金を求める式をつくり、計算方法を考えよう。	
	4 実際のリボンや数直線を確認しながら、2.3m分の代金の予想を立てる。	<個人思考の場>
	5 $80 \times 2.3$ の求め方を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板にリボンや数直線を提示し、2.3が数直線のどのあたりに位置するのか提示し、代金の予想を立てやすくする。</li> <li>・整数を10分の1にしたり、2.3を整数に直したりして計算することに気付けるように、穴埋めの表を用意する。</li> <li>・小数を整数に直して計算する方法に気付いた児童には、23は2.3の何分の一なのワークシートに書き込むように伝える。</li> <li>・0.1m分の代金を基にして考えた児童には、2.3は0.1がいくつ集まった数なのか聞き、小数と整数の関係性に気付けるようにする。</li> <li>・2mと0.3mに分けたテープを黒板に提示することで、テープを分けて考える方法に付きやすくする。</li> </ul>
整理 (8)	6 個人で考えた求め方をグループや全体で共有する。	<対話の場>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 0.1mの代金を求めてから、考えてみよう。</li> <li>② 2.3を整数にして考えようかな。</li> <li>③ 数直線を使って0.1m分の金額を求めてから、2.3m分の金額を求めようかな。</li> <li>④ 2mと0.3mに分けて考えようかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算方法にごとに分けて板書をし、自分の考えた計算方法以外にも目を向けられるようにする。また、それらを書き込めるワークシートを用意する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0.1m分の代金を考えて、23倍すると2.3m分の代金を求められる。</li> <li>・2.3の10倍が23だから、23をかけた後に、10でわるとよい。</li> </ul>	<ふりかえりの場>
	7 まとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整数と小数の関係性を視覚化できるように、穴埋めのワークシートを用意する。</li> </ul>

- 4 評価 乗数が小数である場合に、小数を整数に直したり、整数との関係性に気付いて計算したりすることで、リボン2.3m分の代金を正しく求めることができたかどうか。 (活動5、6から)